



消防長官表彰を受ける遠藤副団長



消防服を着て記念撮影する子ども達

今年一年が平穏で安心なまちであることを願うとともに、日頃の訓練の成果を披露する、伯耆町消防団出初式が、1月11日に開催されました。式典では、長年消防団員を務めた方など40人へ表彰状伝達が行われ、表彰者を代表し、第一分団の篠田団員が、「この受賞を契機としてその責務の重大さを再確認し、伯耆町の発展と住民生活の安定のため、一層努力、精進する所存であります」と謝辞を述べました。続く分列行進・一斉放水では、機敏な動きを披露し、防火を訴えました。

また今年は、子ども用の消防服と顔出しパネルが用意され、訪れた子ども達も消防車両と記念撮影をしていました。

今年も町民一人ひとりが災害予防に努め、災害の無い町にしましょう。

無事故・無火災を願って

〜伯耆町消防団出初式〜

まちのわだい



町制施行10周年記念式典
町の歩みを振り返り
さらなる発展を誓う

伯耆町制施行10周年記念式典を1月17日、鬼の館で開催し、町民など約250人が出席して町の節目を祝いました。

はじめに、伯耆町誕生から現在までをまとめた映像を上映し、伯耆町の10年間の歩みを振り返りました。

式典では、町の発展などに貢献された30人9団体に表彰状・感謝状・特別感謝状を贈呈。続いて、森安保町長が、「これからの政治の流れは国から地方へ大きく加速され、基礎自治体の役割、責任は今ままで以上に大きくなると思われます。この現実を目をそむけることなく、住民目線で、勇気を持って正々堂々と立ち向かうことが、私たち行政の使命であると考えます」と式辞を述べました。また、細田栄

議長が「岸本町と溝口町の伝統的な文化や風習を尊重しながら一体感のある町づくりに努めてまいります。この10年を振り返り、反省すべきは素直に改め、新しい目標に向かって町民の皆様と共に歩んでまいりたいと思います」と挨拶しました。

来賓代表として赤沢亮正内閣府副大臣が「表彰状・感謝状を受けられた方々、おめでとうございます。町民と行政の信頼関係が素晴らしい伯耆町の発展を期待しています」と祝辞を述べられました。

最後に、篠原天副議長の音頭により、万歳三唱をして式典を締めくくりました。

伯耆町10年の軌跡は、
広報ほうき2015年
3月号に掲載します。



地元スキークラブによるパネル滑走



豚汁の無料配布に並ぶ来場者

スキーシーズンの幕開けを祝う桧水高原スキー場開き祭が、12月23日に開催され、スキーヤーや観光客など約200人が訪れました。始めに神事を執り行い、今シーズンの安全を祈願した後、豚汁の無料配布やパネル滑走、宝探しなど様々なイベントが開催されました。また、リフトが無料開放されたゲレンデは、多くのスキーヤー・スノーボーダーで賑わいました。

スキー場職員によると、シーズン当初は積雪に恵まれ、スキー場開き祭前の20日から営業を開始。祭り当日の積雪量は25cmと少なかったですが、雪質は良いとのことでした。

みなさんもぜひ、桧水高原スキー場でウィンタースポーツを楽しんでください。

ウィンタースポーツを満喫しよう

〜桧水高原スキー場開き祭〜